



令和7年度がスタートしました

新たに9名の先生方をお迎えし、令和7年度がスタートしました。引き続き、「あいさつ日本一」に挑戦する大内中生らしく、生徒たちは、元気なあいさつと拍手で転入された先生方を温かく迎え入れてくれました。また、生徒一人一人の表情からは、進級を機に、新たなやる気と決意が感じられました。

さて、今年度は1年生40名を迎え、2年生43名、3年生44名、計127名の生徒数となります。令和7年度が生徒にとって充実した1年となるよう、職員一同、全力を尽くして参ります。これまで同様、保護者及び地域の皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

新任式・始業式 4/7

転入等職員の紹介「よろしくお願いします」

○*	*	*	*	(本荘東中より)
○*	*	*	*	先生 (本荘東中より)
○*	*	*	*	先生 (仁賀保中より)
○*	*	*	*	先生 (岩城中より)
○*	*	*	*	先生 (本荘南中より)
○*	*	*	*	先生 (仁賀保中より)
○*	*		*	先生 (新しく先生になりました)
○*	*		*	先生 (本荘東中より)
○*	*	*	*	先生 (お休みを終えての勤務です)



歓迎の言葉

この春、着任された九名の先生の皆さま、堤台の丘に立つ大内中学校へ、ようこそおいでくださいました。私たち大内中生一同、新たな先生の皆さまを迎え、今年度も元気で、楽しく、新たな足跡を刻むことができると期待をふくらませているところです。

ステージの上にある大内中学校の校章は、大内地域を代表するさつきの花からデザインされたものですが、さつきの花の五つの先端には、それぞれ「自立・団結・協力・希望・飛躍」を目指す思いが込められており、五つの思いがかなえられるよう生徒一同頑張りますので、先生方の力強いサポートをよろしくお願いします。

これらの思いをかなえる一つの活動として、大内中学校では「あいさつ」に力を入れているところです。生徒会では、毎週月曜日と水曜日の朝に玄関前で「あいさつ運動」を続けています。あいさつ運動では生徒の提案で、手を振りながら笑顔であいさつを行いますので、先生方も生徒に負けない笑顔のあいさつをよろしくお願いします。

また、地域の大内小学校、岩谷小学校と合同で、あいさつ運動やアルミ缶回収、アウトメディアチャレンジを行うなど、小学校とのつながりが強いことも特徴となっています。

さて、今年度は大内中学校の開校、十周年の年であり、さまざまな記念行事が行われる予定となっております。



4月3日玄関前の桜

この節目となる年をきっかけに学校生活を一層よりよくしていくことを誓うとともに、統合となった旧大内中、出羽中の歴史を引き継ぎ、中学生として地域の魅力を発信していけるよう、生徒会や専門委員会がアイデアを出し合い、盛り上がる一年にして行きたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

生徒代表 3年 ** **

始業式 校長式辞

「あなたの『好き』を大事にしてほしい」

今日から令和7年度、大内中学校の11年目がスタートしました。先ほど、新しい先生方をお迎えし、皆さんも2年生、3年生に進級し、明日は、新1年生が入学してきます。今、私は今日から始まる大内中学校での皆さんとの生活にわくわくしています。

今年度は、皆さんが知っているように、学校創立10周年記念事業がおこなわれます。5月末の運動会を皮切りに、本荘由利中学校総合体育大会壮行会や学校祭、講演会などを「創立10周年記念」という名前をつけて実施します。また、昨年度皆さんが答えてくれたアンケートを基した企画を実行していくことになります。どのような事業になるか今から楽しみます。

このように、大内中学校が開校11年目を迎えて頑張っているところを今年は大内地域だけでなく広く全国、全世界にPRするまたとないチャンスです。全校でこの1年を素晴らしいものにしていきましょう。

さて、今年1月に由利本荘市出身で東京オリンピックのカヌー競技に出場された小野祐佳さんと同じく由利本荘市出身でNHK秋田放送局のキャスターをなさっている高野菜さんの対談を伺いました。その中で、小野さんが中学生と交流する機会がある時に必ず伝えているメッセージがあるのだそうで、それは「あなたの『好き』を大事にしてほしい」ということでした。

ここで、皆さんに質問ですが、今、中学校生活の中で大好きで熱中していることがある人はどのぐらいいますか？

小野さんは、「『好き』を大事にしてほしい」と伝えている理由として、「『好き』のためならいやなことも逃げずに取り組めるからだ」と言っていました。「自分が心からしたい、やりたいと思ってやっている行動は、自分の実になる。」つまり「努力の積み重ねが結果して成功する。よい結果が出る。」からだそうです。オリンピック出場という大きな成功を果たしたアスリートの実感がともなった言葉には、重みを感じました。

また、小野さんと高野さんは幼なじみで、今でも何でも言い合える大親友だと言っていました。そして、中学生にも悩みを打ち明けられる親友を持っていほしいと言っていました。

そんなお二人は、漫画が好きで、その中でも「ハイキュー!!」が一押しだそうです。ちなみに、皆さんで「ハイキュー!!」を読んだことがある人はどのぐらいいますか。そして、「ハイキュー!!」中の名言を2つ紹介してくれました。それは、「君は…、君こそはいつも万全でチャンスの最前列に居なさい」という武田先生の言葉と「チャンスは準備された心に降り立つ」という田代の言葉だそうです。

つまり、『好き』を大事にする人の心にはチャンスが降り立つ。そしてその人たちの中で、最前列で万全な準備していた人はそのチャンスをもものにすることができる。…ということなのだと思いました。

4月は、新たなスタートの季節です。皆さんでもうすでに『好き』なものを持っている人は、それを大事にしてチャンスをつかみましょう。また、『好き』がまだ見つからない人は、自分の『好き』を探してみましょう。

皆さんにとって令和7年度が素晴らしい1年になることを期待して、式辞とします。

令和7年4月7日

由利本荘市立大内中学校長

* * * *